

## 令和7年度 淀川中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

### 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。  
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

### 1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年 2025.4.17	学校	52	51	42	7.4	12.7
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
	理科
学校	463
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

### 2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	69	62.2	42.9	48.6	40.5	44.1	6.8	6.5	12.1	10.0	7.4
	大阪市	—	64.8	51.5	54.3	48.2	54.4	6.1	5.8	11.1	8.6	6.5
9月2日	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	48.1	53.2	5.7	5.5	11.7	6.8	6.0

※ 3年生の理科はA問題を選択

令和7年度 淀川中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞全国と比較して、知識及び技能の分野で「言葉の特徴や使い方に関する事項」の内容において0.5ポイント高かった。思考力、判断力、表現力等の分野ではすべての内容において平均正答率を下回ったものの、「書くこと」の内容において差が小さかった。一方、「読むこと」の内容では差が大きく、課題があるという結果であった。

＜数学＞全国と比較して、すべての領域において平均正答率を下回ったものの、「図形」の領域において差が小さかった。一方、「数と式」の領域では差が大きく、課題があるという結果であった。

＜理科＞全国と比較して、平均IRTスコアが40ポイント下回るという結果であった。

＜生徒質問紙＞「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対して、最も肯定的な回答をした生徒が全国平均と比べ4.8ポイント高かった。また、「国語の授業の内容はよく分かりますか」「数学の授業の内容はよく分かりますか」「理科の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対して、最も肯定的な回答をした生徒が全国平均と比べ、「国語」は同ポイントであったが「数学」、「理科」に関してはそれぞれ3.7ポイント、13.3ポイント高かった。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

平均点は大阪府と比較して、国語で2ポイント、社会で8ポイント、数学で5ポイント、理科で7ポイント、英語で9ポイント下回る結果であった。国語において「話すこと・聞くこと」の領域では一定の成果が見られたものの、「読むこと」の領域では課題があった。社会において「地理的分野」の領域では一定の成果が見られたものの、「歴史的分野」の領域では課題があった。数学において「関数」の領域では一定の成果が見られたものの、「数と式」の領域では課題があった。理科において「エネルギー」と「生命」の領域では一定の成果が見られたものの、「粒子」の領域では課題があった。英語において「読むこと」の領域では一定の成果が見られたものの、「書くこと」の領域では課題があった。

【今後に向けて】

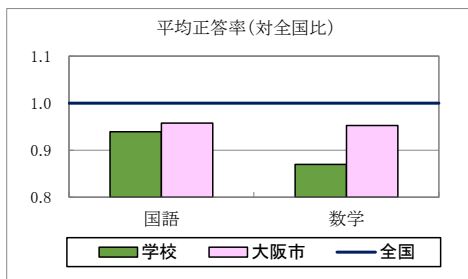
【今後に向けて】

令和7年度 淀川中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

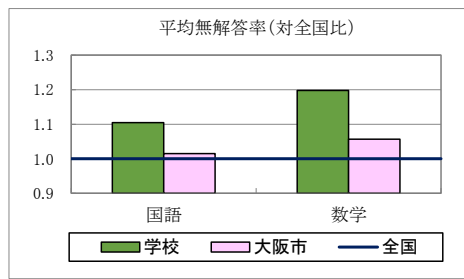
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	51	42
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

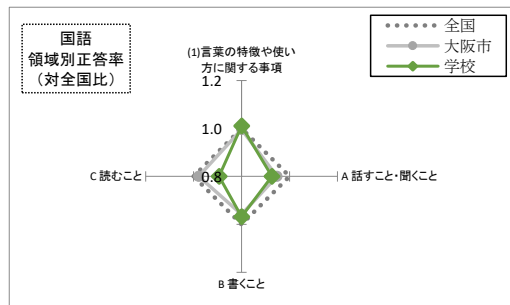
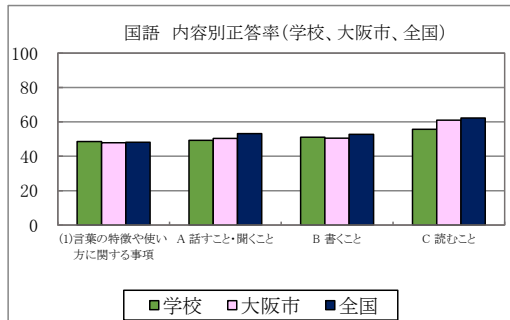


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	7.4	12.7
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



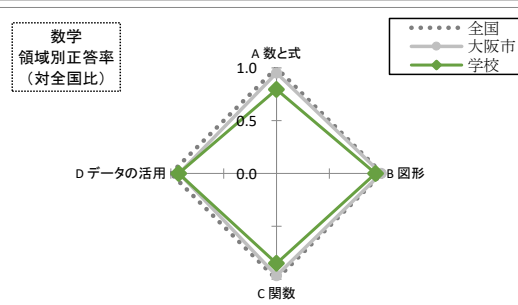
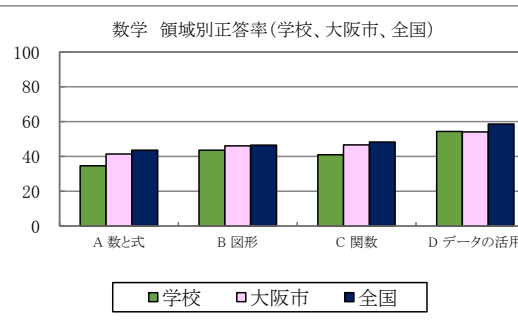
【 国 語 】

学習指導要領の 内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	48.6	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	49.3	50.4	53.2
B 書くこと	5	51.1	50.6	52.8
C 読むこと	3	55.7	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	34.6	41.4	43.5
B 図形	4	43.6	46.1	46.5
C 関数	3	41.0	46.6	48.2
D データの活用	3	54.3	54.0	58.6

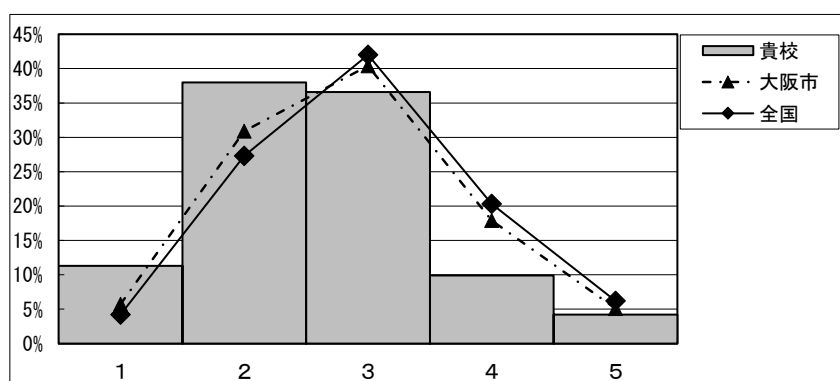
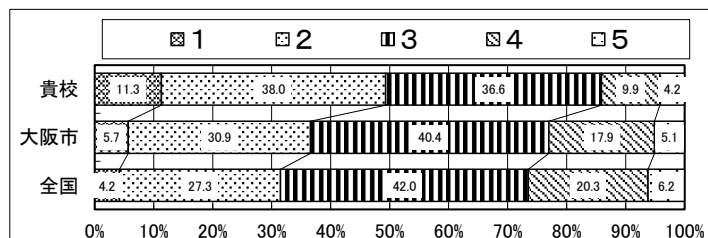


令和7年度 淀川中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	463
大阪市	489
全国	503



# 令和7年度 淀川中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

## 生徒質問より

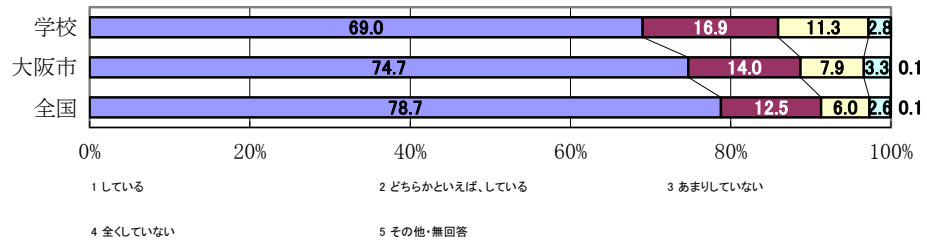
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

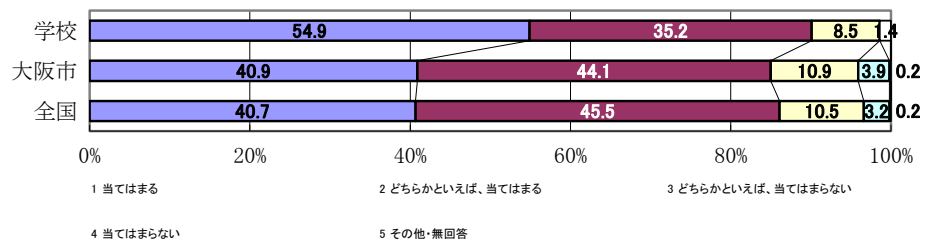
1

朝食を毎日食べていますか



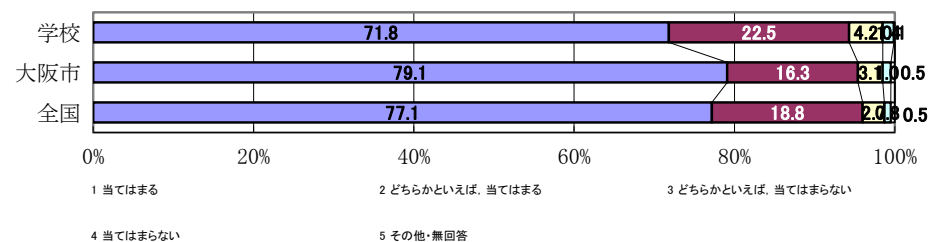
5

自分には、よいところがあると思いますか



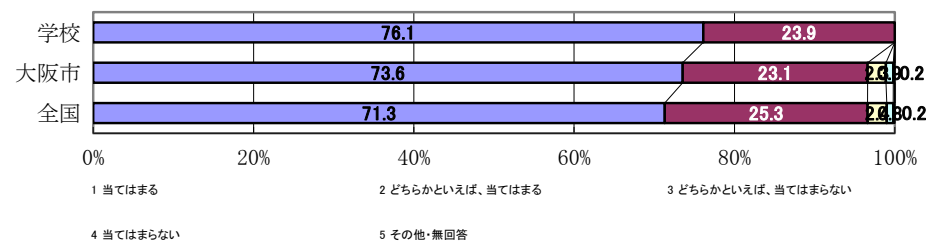
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



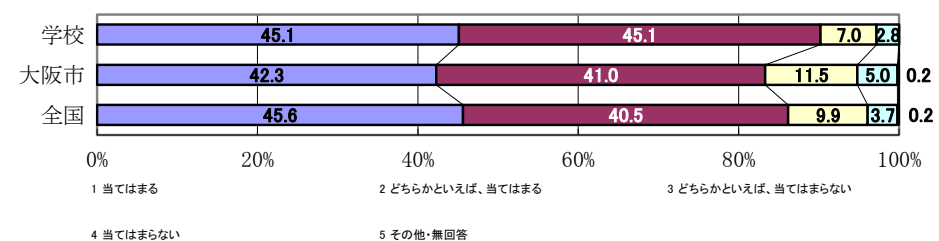
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



12

学校に行くのは楽しいと思いますか



# 令和7年度 淀川中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

## 生徒質問より

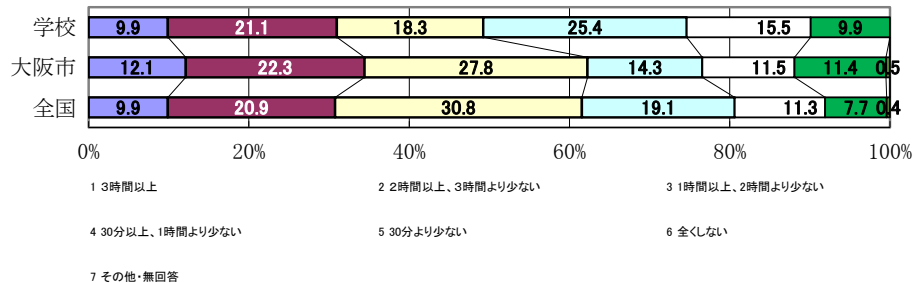
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

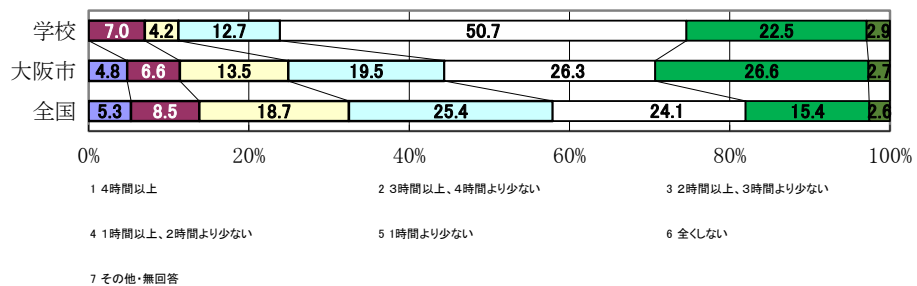
17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



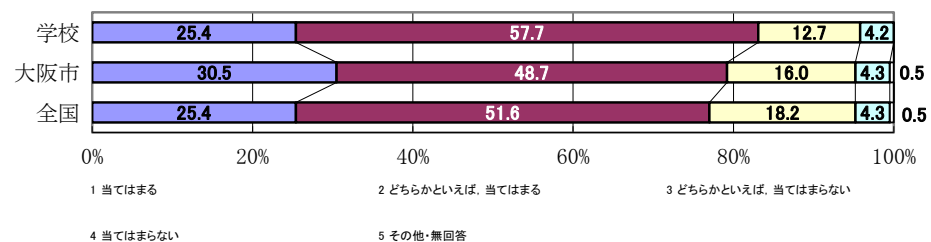
19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



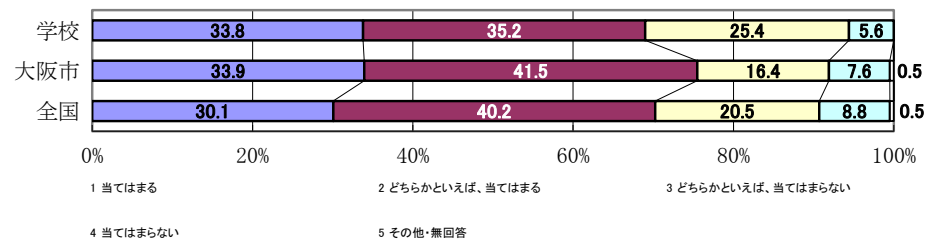
46

国語の授業の内容はよく分かりますか



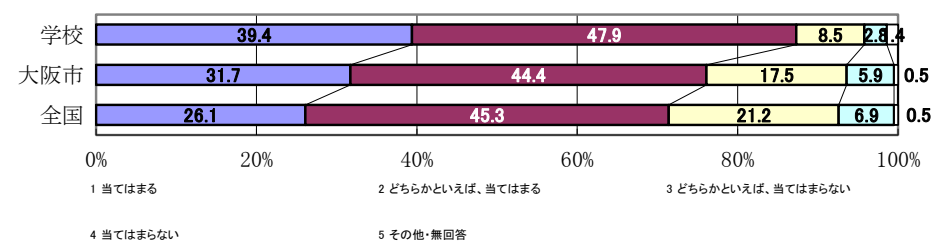
54

数学の授業の内容はよく分かりますか



62

理科の授業の内容はよく分かりますか



令和7年度 淀川中学校のあゆみ  
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

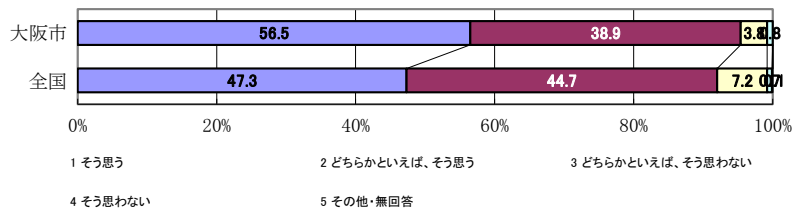
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

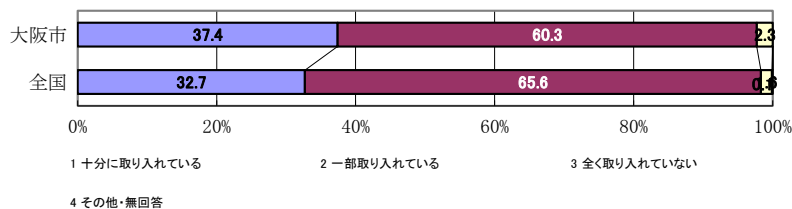
学校 「そう思う」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

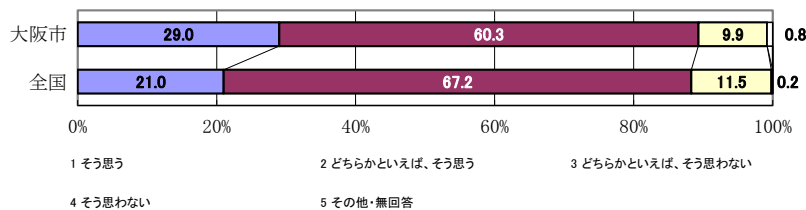
学校 「十分に取り入れている」を選択



25

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

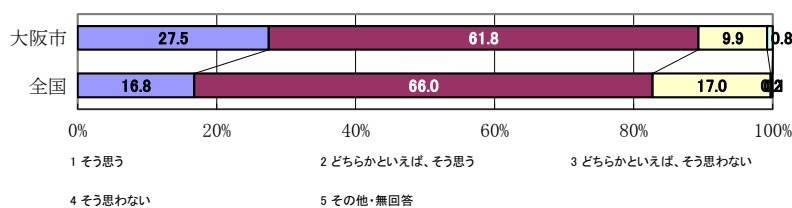
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



26

調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



84

令和6年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)

学校 「よく行った」を選択

